

教科目名 都市景観学 (Urban Landscape)

専攻名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 1 年 (教育プログラム 第 3 学年 ○ 科目)

単位数など : 選択 2 単位 (前期 1 コマ , 学習保証時間 22.5 時間)

担当教員 : 亀野辰三

授業の概要			
本講義では、都市景観を対象に、特に生活圏における景観荒廃問題について解説する。なお、美しい景観づくりには、まずわが国の景観問題の現状を認識することが必要である。そのために、本講義では現地のフィールドワークを通じて、より良い景観とは何かを考え、それをレポートにまとめ、皆の前で発表するプレゼンテーションを重視している。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(E1), JABEE 目標(d2a)	
(1) 都市景観に関する基礎知識を理解できる。(定期試験)			
(2) フィールドワークを通じて、景観デザイン上の問題を発見でき、解決の方策を提示できる。(レポート)			
(3) 景観レポートでまとめた内容をプレゼンテーションでき、質疑応答ができる。(プレゼン)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	1.生活圏の景観問題	○生活圏における景観荒廃問題について理解する。 ○大分市内の景観の現状を理解する。 ○フィールドワークの調査手法を学ぶ。 ○レポート課題に即しフィールドワークを行い、景観デザインの現状と問題点を理解する。 ○現地調査結果のまとめ方を学ぶ。 ○プレゼンテーションができる。 ○景観法の背景と意義、制度・内容について理解する。 ○街路樹の機能・役割について学び、都市景観の中で街路樹の樹種選定の重要性について理解する。	【理解の度合い】
2	2.郊外景観の興亡		
3	3.現地視察		
4	4.フィールドワーク		
5	(1)調査手法		
6	(2)現地調査		
7	(3)レポート作成		
8	(4)プレゼンテーション		
9	(5)プレゼンテーション		
10	5.景観法		
11	6.景観法		
12	7.街路樹景観		
13			
14			
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
			【理解の度合い】
			【理解の度合い】
			【試験の点数】 点
履修上の注意	景観問題に興味を持つ学生の受講を望む。また、適宜プリントを配布するので、ファイルを用意しておくこと。		【総合達成度】
教 科 書	松原隆一郎、『失われた景観』, PHP 新書		
事前準備学習	事前にインターネットで学習する範囲を調べておくこと。		
関 連 科 目	交通システム工学, 環境計画 (C 科), 都市計画 (C 科), 地域計画学, 道路交通工学 (C 科)		
総 合 評 価	達成目標の(1)～(3)について定期試験とレポート及びプレゼンテーションで評価する。 総合評価＝0.7×定期試験の成績＋0.3×(レポート＆プレゼン) 総合評価が 60 点以上を合格とする。		【総合評価】 点